

長崎県大村市教育委員会

(概要)

- ・ 設置校数：小学校 15 校、中学校 6 校
- ・ 環境を考慮した学校施設（エコスクール）として既に取り組んでいる学校数：
小学校 15 校、中学校 6 校（市内全小中学校）
- ・ エコスクールへの取組時期：平成 21 年 7 月～
- ・ エコスクール化の方針
太陽光発電設備の設置（総電力 615kW）
- ・ 要旨
市内の全小中学校に太陽光発電設備及び環境学習用モニターを設置し、日々の発電量や CO2 削減量などの情報を通してクリーンエネルギーへの関心を高め、高い環境意識を持った子どもを育てる。

(エコスクール化の内容)

- ・ 市内全小中学校（小学校 15 校、中学校 6 校）に太陽光発電設備及び環境学習用モニターを設置。今後の環境学習に役立てる。
(H21 年度安全・安心な学校づくり交付金事業 ※一部を除き H22 年度へ繰越して実施。)



(旭が丘小学校 太陽電池パネル)



(大村中学校 太陽電池パネル)



(黒木小学校 プールサイド庇兼用太陽電池パネル)



(松原小学校 太陽電池パネル)

(エコスクール化の効果)

H22.9.21 現在、太陽光発電設備設置済の学校が11校、工事中の学校が10校ある。設置済の学校も完成して間がないため、エコスクール化の効果については、今後の経過が待たれる。

シミュレーションによると、全21校の総量で年間約48万kWhの発電量が見込まれ、各学校で電気として使用されるほか、電気を使用していない時には、電力会社に売却される。

各学校の玄関等に設置した環境学習用のモニターでは、発電量やCO2の削減量、気象データ、クリーンエネルギーに関する情報などが表示され、これらの情報に日頃から身近に接することによって、児童・生徒への高い環境学習効果が期待される。



(大村小学校正面玄関 環境学習用モニター)

(地域等の環境・エネルギー教育、意識向上)

身近な学校に比較的大きな規模の太陽光発電設備が設置されることによって、地域住民の目にも留まり、学校への来訪者には、児童・生徒と同様に環境学習用モニターの情報を通して環境問題に関心を持ってもらえる機会となる。

また、子ども達の環境意識が高まれば、保護者や地域にもその輪が広がり、地域全体の環境意識が向上することが期待される。

